

Drop&Drop+

ユーザーマニュアル



<http://www.umap.net/>

目次

概要	3
動作環境	3
インストール	3
初期設定	4
【メイン画面】	4
● Drag&Drop+ を有効にする	4
● モジュールのアイコンを表示する	4
● キーでボタンを押す機能を使う	4
● スキャン	4
【アプリケーション画面】	5
ユーザー登録	5
バージョン確認	6
使い方	6
文字を移動する	6
文字をコピーする	6
ジェスチャー機能	6
モジュールを利用する	7
DA ランチャーとして使う	7
キーボードを利用する	7

概要

Drag&Drop+はPalmOS 5専用のテキスト入力環境を拡張するソフトウェアです。このソフトをインストールすると以下の機能が追加されます。

- テキストをドラッグして移動
- 別途インストールしたモジュールに選択した文字列を渡して、処理を行う
- 画面をダブルタップしてDAs ソフトを起動する
- キーボード操作により画面上のボタンを押す事が可能になる

動作環境

PalmOS 5を搭載したPalmOS デバイスでのみ、動作します。PalmOS 4以前で利用する場合は、Drag&Drop をご利用下さい。

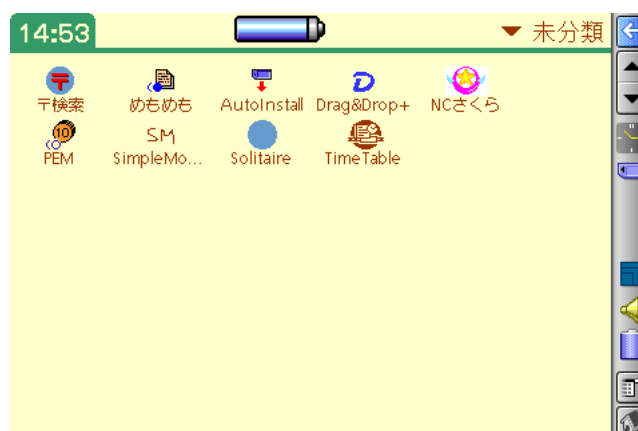
また、キーボードでボタンをタップする機能を利用するには、キーボードが搭載されたデバイスが必要です。

インストール

もしも、以前のβ版をインストールしている場合は、インストール前に機能をオフにしてから削除して下さい。

Drag&Drop+.prc プログラム本体
SimpleModule.prc サンプルモジュール

上記のファイルをPCのHotSync機能でデバイスにインストールします。



初期設定

インストールしたら、Drag&Drop+ のアイコンをタップして、起動します。

【メイン画面】



● Drag&Drop+ を有効にする

本ソフトの全ての機能をオン・オフを設定します。Drag&Drop+ を削除する時や、プログラムを差し替える場合は、**必ず最初にここをオフして下さい。**

●モジュールのアイコンを表示する

モジュールを呼び出す時に、モジュール名の前にそのモジュールのアイコンを表示するかどうかを指定します。アイコンを表示する設定にすると、リストの行間が高くなるため、一度に表示できるモジュールの数が少なくなります。お好みに合わせて設定して下さい。

●キーでボタンを押す機能を使う

ここをチェックすると、画面上のボタンをキーボードで操作できるようになります。ただし、画面に表示されている全てのボタンを押す事はできません。

●スキャン

モジュール対応のプログラムをインストールしたら、このボタンをタップしてモジュールを検索して下さい。モジュールの並びは、ペンでドラッグして入れ替える事ができます。また、利用しないモジュールはチェックを外して下さい。

【アプリケーション画面】



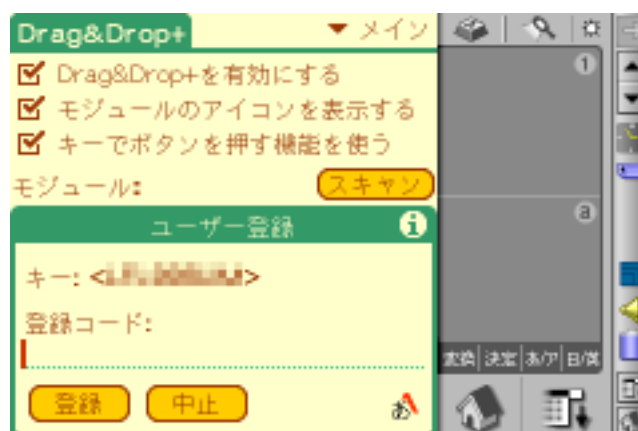
この画面では、相性の悪いアプリケーションではDrag&Drop+の機能を無効にする事ができます。画面タップするゲームなどはここでOFFにして下さい。また、**NetFront** は相性が悪いので、あらかじめOFFにするようにお勧めします。

ユーザー登録

Drag&DropはUS\$15のシェアウェアです。必ず試用してから機能に満足して頂いた場合のみ、ご購入下さい。購入方法に関しては、ホームページをご覧ください。

ユーザー登録されていない場合は、テキストをドラッグアンドドロップした時などに[DEMO]が追加されます。また、キーボードでボタンをタップする機能とDAを呼び出す時に、試用中である事を表示します。

なお、購入した登録コードは、その時のHotSyncユーザー名と連動してます。従って、将来HotSyncユーザー名を変更した場合、そのコードは御利用できませんので、御注意下さい。



バージョン確認



使い方

文字を移動する

編集中のテキストの文字の一部を別の場所に移動する場合は、移動したい文字を選択して、その選択範囲内からペンをプレス（押したまま）して、移動したい場所までドラッグして目的の位置にキャレットが来たら、ペンを放します。

文字をコピーする

一部の文字を別の場所にコピーしたい場合は、移動する時と同様に選択し、最初にペンをプレスしたら画面左上に[COPY]と表示されるまで、ペンを移動させないで下さい。[COPY]と表示された後にドラッグ&ドロップすると、元の文字を残し、ドロップした場所に挿入されます。

ジェスチャー機能

選択文字をコピー・カット・削除したい場合、ジェスチャーで行う事ができます。捜査の対象となる文字を選択して、その選択範囲からペンを以下の様に操作します。

カットする
下&上



コピーする
上&下



削除する
右&左



モジュールを利用する

モジュールで処理を行いたい文字を選択して、選択範囲内でダブルタップします。すると、モジュールリストが表示されるので、利用するモジュール名をタップします。このリストの順番は、Drag&Drop+のモジュールリストでドラッグして並べ替える事ができます。

同封されているモジュールは、選択された文字列を括弧で囲んだりする程度の単純な物ですが、他のデベロッパーの作られた優秀なモジュールも公開されています。

DA ランチャーとして使う

画面上で何もない部分をダブルタップすることで、DAのリストが表示されます。リスト中の目的のDAをタップすれば、そのDAを起動します。DA呼び出しを中止したい場合は、リストの外をタップします。

ただし、画面上では何も表示されていない部分でも、表示されていないフォームオブジェクトがある場合、そこをダブルタップしてもDAランチャーは起動しません。例えばPalmOS標準のランチャー画面では。下のアプリケーションアイコンが並んでいる部分は。アイコンが表示されていなくても、アイコンを表示するための部品が存在しているため、DAランチャーは起動しません。この画面では例えばフォームタイトル（左上で時間が表示されていたりします）の右横をダブルタップすればOKです。

キーボードを利用する

キーボードを搭載した機種の場合、キーボードで入力中、ちょっとボタンを押したい時、スタイラスに持ち帰るのは面倒です。このような時は、キーボードのCtrlキーとPキーを同時に押すことで、画面上のボタンに大文字のアルファベットのが表示されます。目的のボタンの上に表示されているキーを押せば、そのボタンをタップしたことになります。中止したい場合は、Back ボタンを押します。

注意！

この機能は、Ctrl+Pキーを使うため、PalmOS標準の、「次のフィールドにカーソルを飛ばす」ことができなくなります。（あまり対応したソフトが無いですけどね）。

また、アプリケーションによっては、通常のボタンに見えるけど、特殊な物もあります。すべてのボタンに対して有効ではありませんので、予めご了承ください。